

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.9.7

第 1114 回放送分『命を守るゲートキーパー』1 回目

ゲスト：春日井基文ドクター



二見いすず

今月のドクタートークは、9月10日から16日が自殺予防週間ということで、「命を守るゲートキーパー」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 春日井基文（かすがい もとふみ）ドクターです。

春日井さん、どうぞよろしくお願いいたします。

春日井基文Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

今月のテーマ、「命を守るゲートキーパー」ですが、この「ゲートキーパー」という言葉を初めて耳にするという方も多いと思います。

まずは、こちらについて教えていただけますか。

春日井基文Dr.

はい。ゲートキーパーというのは、何かしら悩みを抱えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげて、見守る。

そうすることで自殺防止につなげる。そういった対応を行う人のことをゲートキーパーと言います。

二見いすず

つまり、春日井さんのような専門家だけというわけではなく、悩んでいる人の身近な家族や同僚、友人なども、ゲートキーパーになれるということでしょうか。

春日井基文Dr.

そうですね。専門性の有る無しは、関係ありません。
特別な資格がいるわけではないので、どなたにでもなっていただきたいです。

二見いすず

分かりました。コロナ禍では、特に若い女性の自殺が増えたというニュースに触れましたが、現在はどのような状況なのでしょう？

春日井基文Dr.

最近の数年間をみると、自殺者数は、全国では2万を超え、鹿児島県においては250人を超える状況が続いています。

二見いすず

胸が痛みますね。年代によって理由も変わりますが、いかがですか。

春日井基文Dr.

年代に関わらず、自殺の多くは、健康問題・家庭問題・経済問題などの要因が複合的に連鎖することで起こりますが、それぞれの年代に特有の出来事も大きく影響します。
例えば、高齢者では身体的不調や親しい人が亡くなるなどの喪失感や孤立、10代では学業不振やいじめなどの学校での悩み、若い女性では妊娠・出産・育児におけるうつ状態があります。
また、10代から30代の死因の第1位が自殺であることは深刻な問題です。

二見いすず

10代から30代の死因で最も多いのが自殺というのは、とてもショッキングですね。

春日井基文Dr.

そうですね。悩みを抱えた人は、「人に悩みを言えない」、「どこに相談したらいいか分からない」、「どのように解決したらいいか分からない」などの状況に陥りやすいんです。

二見いすず

はい。

春日井基文Dr.

そのため、誰にも相談できず、適切な支援を受けられないままに、自殺に追い込まれてしまうこと

があります。

二見いすず

そうならないために、ゲートキーパーの存在がとても大切になってくるんですね。

今月は、「命を守るゲートキーパー」をテーマにお送りしてまいります。

お話は、鹿児島県医師会 春日井基文ドクターでした。

春日井さん、ありがとうございました。

春日井基文Dr.

ありがとうございました。